



諸遊壊司議員

温水プールの早期実現を

各方面から調査・検討中

問 誰しも家族や他人に迷惑をかけることなく、元気で長生きをしたいと思うのは人間の道理でないかと思う。

人口は昨年約1万9千人で10年前より約1千7百人減った。高齢化率は10年前の24・7%から昨年は31・3%になり、10年後は36・7%になると予測されている。また国民健康保険から見た総医療費では10年前が25億9



水中ウォーキングは効果バツグンです。

答 (山口町長)
高齢者の介護予防として、千万円、昨年は35億6千万円で10年間で約10億円の増。10年後の平成27年の見込みは49億円と莫大な金額が推測される。

自分の健康は自分で作り自分で守る。治療医療費よりも予防医療費は格段に安くつく。合併による利点を大いに利用し、温水プールの早期実現を提案する。

現在の健康は自分で作り自分で守る。治療医療費よりも予防医療費は格段に安くつく。合併による利点を大いに利用し、温水プールの早期実現を提案する。

また現在、温水プール建設に対してどういう事業や財政支援があるのかという調査や、既存の施設との連携・運営方法等について各方面から調査検討をしている。

現在の水中ウォーキングの効果は大変大きいと認識している。

現在米子市内のスイミングスクールに委託しているが、今までに延べ千人の方々に参加してもらい大変好評である。

答 (山口町長)
各種イベントを行うことは、実施する地域が活性化することを目的としている。その実施効果とその都度検証し、最大の成果を引き出す必要がある。合併後各種イベントの統廃合については検討作業を行っているが、行

問 新大山町になってイベントが非常に多くなった。これは、旧町で実施されていたイベントが、そのまま新町に引き継がれているからである。年間のイベント回数は25回実施されている。それに伴う経費は相当の額である。町は、その効果について把握しているか。今後内容を検討し統一してはどうか。一例を上げれば、5月に実施している7回のイベントを連休に集中してはどうか。



敦賀亀義議員

各種イベントの効率化を

検討を進めている

政のみでは調整が困難である。性格や目的、事業効果を総合的に勘案し続けられるもの、同時開催による相乗り効果が期待できるものに検討を加え推進したい。



雨の中で頑張った昨年のみくりやポートフェスティバルのごだいごレース